

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 戦没者追悼式関係経費
-------------------	-------------------------

区分	番号	名 称
章	6	担いあうまちづくり
節	9	
施策	9	
小分類	9	
主要な施策	9	
事務事業番号	001	事務事業コード 69999001 事業開始年度 昭和 4 6 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	戦没者追悼式関係経費
------	------	------------	------------

部 名	保健福祉部	グループ名	社会福祉 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対 象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 戦没者遺族及び市民
手 段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 国や北海道が行っている戦没者追悼式に準じて戦没者遺族を始め関係者の参列のもと市が式典を実施し、本市出身の戦没者の霊を慰め追悼し、平和を祈念する。
目 指 す 姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 二度と惨禍の起こることのない平和な社会を維持する。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単 位	区 分	21年度 実 績	22年度 目 標	23年度 目 標	24年度 目 標	25年度 目 標
成果 指標	参列者数	人	目標値	150	150	150	150	150
			実績値	87				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業の 財源 内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	496	420	415	415	415	1,245
合 計				496	420	415	415	415	1,245
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	529	554			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		529	554			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について				
今後市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である	→	妥当である理 由、妥当では ない理由は何で すか？
		妥当ではない		
戦没者の霊を慰め追悼し、平和を誓う重要な行事であり、国や道を始め全国の市町村においても実施しており妥当である。				
2. 事務事業の成果について				
成果はあがって いますか？	→	成果があがっている	→	成果があがって いる理由、あが らない理由は何 んですか？
		どちらかといえばあ がっている		
		成果があがらない		
戦没者遺族の高齢化が進んでおり、参加者が減少傾向にあるが、戦没者遺族が参加し、平和な社会を維持する大切さを啓蒙することができた。				
3. 事務事業の成果向上について				
成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させるこ とができる	→	どのようにして 向上させます か？ 向上させるこ とができない理 由は何ですか？
		少し向上させるこ とができる		
		向上させることはで きない		
一般市民の参加を呼びかけるとともに、平和を祈念する行事を同時開催することにより成果を向上させることができる。				
4. 事務事業の経済性・効率性について				
成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできます か？	→	削減できる	→	どのような方法 でコストを削減 しますか？ 削減できない理 由は何んです か？
		削減できない		
式典の規模や会場などの見直しを検討したが、会場を市民会館大ホールから2階の中ホールへ移し、祭壇などを縮小した場合、2階へ祭壇作成用の花を運搬することに経費が高んでしまうことから現状として経費を削減することは難しい。				

担当グループによる評価

維持	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	式典については、実施する必要があると考えるが、規模や会場などについて引き続き検討する。 今後においては、会場を市民会館ではなく他の場所へ移した場合の経費や実際に行えるかなど、規模の縮小・経費の節減の見直しに努める。
-----------	----------------------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）